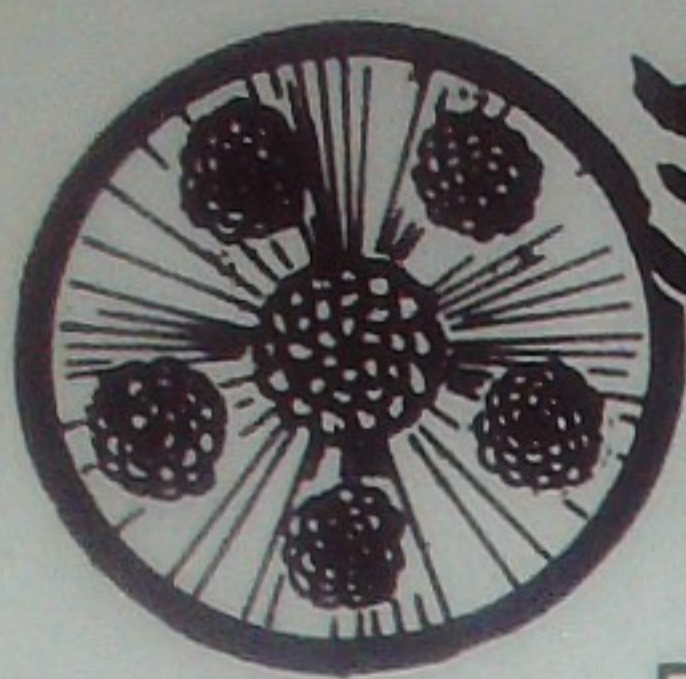




理容 やまがた

第277号

——発行所——

山形県理容業環境衛生同業組合

〒990 山形市清住町3-2-65 電話(0236)45-3525

発行者 富樫富太郎 編集者 石垣 肇

購読料 1部10円 毎月1回発行

組合員の購読料は賦課金の中に含まれて居ります

リーダー研修会開催 グループKJ法(マラソン討論)

昭和六十三年年度 青年部婦人部

例年になく早い雪に、燃えるような紅葉も期待出来ず、積雪四十センチの蔵王山頂にスキーヤーは向かう。

十一月二十、二十一日、蔵王やまびこ荘で、県理容青年部、婦人部リーダー研修会にチェイン着装準備しての蔵王集合である。

各支部からの代表者五十名が参加した。午前十時石沢組組織部部長の司会により開会。松田組織部長および細谷組織担当副理事長より御挨拶をいただいた後、講演に入った。講師にカネボウ化粧品販売(株)山形営業所教育担当課長である佐藤悦子氏よりおいでいただき



カネボウ
佐藤先生

「おしゃれ」というテーマで現代の流行およびこれからの傾向また消費者サイドから見た理容店、などをお話しいただいた。時代の流れに沿って「食事のファッション化」「ボディシェイプアップ」「D.C.ブランド」「個性化高級化指向」など生活の中でのおしゃれ、トータル的なファッション化傾向に合わせ「朝シャン」の流行語が生まれたほどシャンプーに対する関心度また、ムースなどフォーム剤の出現に見られるような化粧品品の流行の移り変わり、年代別好みの違いなどデータにもとづいてお話しいただいた。理容店に望むおまな点では「流行に敏感であってほしい」「自分に合ったヘアスタイルの希望」「中高年のヘアパターンの表



示」「待ち時間問題」などが有り客の要望に十分対応できるお店づくりを目指してほしいとの事であった。講演後昼食をはさんで参加者全員でグループKJ法式による研修会を行なった。テーマは「お客様のニーズに答えるためには……」である。その内容は、(一グループ)ニーズ客に答える(営業時間の見なおし)
(二グループ)組合への要請(営業時間と休日、料金の値上)
(三グループ)組合に対する希望(季節に対する営業時間を)
(四グループ)組合に対する希望(理容業のアピール)
(五グループ)営業時間の延長
(六グループ)営業時間、料金(夏時間を考える)
(七グループ)理容師の輪旋する所と技術の向上
組合員相互の理容と協力、ニーズに対応すべく知識と意識の向上など活発な意見発表があった。(後日理事会の席上発表された)
過去二回青年部だけの研修会だったが今回婦人部との合同で女性ならではの意見等をお聞きし大変勉強になりました。最後に井上婦人部長と全国青年部婦人部代表

師走に入って一足早いクリスマスパーティーが、十二月九日、こま川江平安閣に於いて、きらびやかに「メリークリスマス」の声も高らかに、青年部婦人部ドッキンクのパーティーが行われました。今年度は新役員の初めてのパーティーと言うことで、何やら不安がよぎりました。と思いきやどうでしょう、いざ会場も幕あけともなれば、何と言っても堂々としたの司会から始まり、各地区長のキャンデルサービスと理容組合と見出しのレーザー光線の輝き、すばらしいあざやかさは留息をつくばかりではありませんか。また、各地区から選ばれた方々の力

クリスマス・ダンス・パーティ

寒河江・西村山支部



ラオケ演歌にあわせてのダンスやブルース、ディスコと流れる音楽に皆ワイワイ、ガヤガヤ熱気があふれ、最高の満足度、興奮のつぼと化し、盛り上がり気分が今度

た細谷副理事長はじめ組織担当理事の皆様、そして各支部青年部婦人部の皆様に心より感謝申し上げます。

夕方からの懇親会が盛大だった事を書き添えて報告いたします。なお御多忙の所、御出席いただいた



上山支部技術講習会

今後の山形県理容組合の発展に大なる事を望み、雄大なそして、世界にも誇れる蔵王が、すっきり晴れ上がり、我々を見送ってくれま

青年協議会委員長 池田 藤雄
組織担当理事 柏倉 正吉

十一月二十八日、上山市商工会館にて、山形県講師会渡辺美津男先生をお招きして、ソフトアイパーの技術講習会を開催しました。現在、多様化したつある髪型で永年にわたりお客様に愛用して戴いているヘアースタイルと言う事で多くの勉強熱心の支部員が参加して下さいました。午前中は、平接アイロンのソフト化について説明に続いて、ウィッグを使用しての模範技術。ソフトアイパーは熱でかけると毛が傷むので薬液の作用を利用してかける等々注意がありました。続いて、各自モデルウィッグを使用して実習に入ります。

で支部員一同思い思いのヘアースタイルが出来上りました。最後に、各作品の評を載き年末の忙しい時にサロンの増収につながる様に、心に思い本日の有意義な講習会は終了しました。渡辺先生お疲れ様でした。

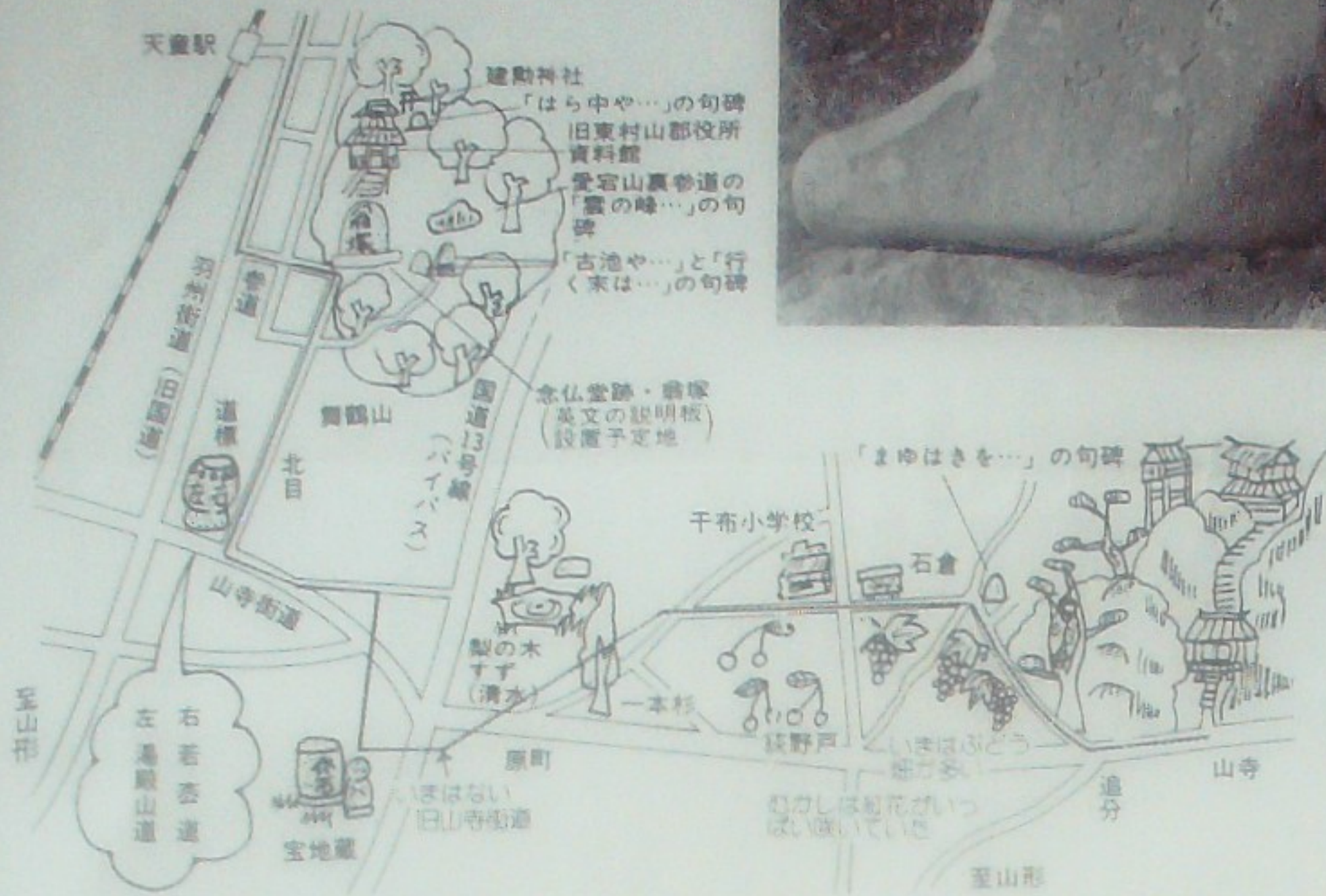
教育部 伊藤 和幸



はゲームに入り、まずミイラのペーパー早大会と思いきや、早いもの勝ちではありませんでした。また、ジャンケンで決った選手のみ、飲み物大会です。そんな盛り上がりの中に時間の立つのも忘れ、早いものでフュナレとなり、皆さんとの別れの時間は「今宵はここまで」となった訳ですが、これも偏へに各地区の組合員の皆様の御協力は勿論ですが、松田支部長や、木村婦人部長それに鈴木青年部長、そしてまた青年部の皆さん、婦人部の役員の方々の御力添えがあったからこそだと思います。本当に今年のパーティーも、大成功に終わったなあと胸をなでおろしている処です。御協力本当に有難度う御座居ました。来年も今年以上にとの誓いも新たに、三三五五家路に着きました。

寒河江地区 黒田 洋子

芭蕉が通った道とゆかりの句碑



今年、芭蕉がみちのくの行脚、奥の細道の旅から三百年になります。天童にある芭蕉ゆかりの句碑を紹介いたします。

「月日は百代の過客にて、行かふ年も旅人なり。」と門人の曾良を従え江戸の深川を旅立ったのは、

芭蕉ゆかりの句碑



元禄二年(一六八九)春旧暦三月二十日(新暦五月十六日ころ)のこと、山刀伐峠から入って鼠ヶ関に抜けるまで山形県を歩いたのは旧暦五月十五日から約五二日間、全行程の四分の一にあたる滞在でした。

「奥の細道」に詠まれている句は五十一、そのうち一三句を芭蕉は山形県内で詠んでいます。芭蕉は山形県内を歩いた句碑が、天童には翁塚の碑をふくめ六つの句碑が建立されています。

「古池や蛙飛びこむ水の音」
「行く末は誰かふれん紅の花」
「雲の峰幾つ崩れて月の山」
「はら中や物にもつかず」
「まゆはきを佛にして紅粉の花」
初夏天童は紅花の真つさかりの頃、芭蕉翁は羽州街道(旧国道一三号线)を南下して天童で左に曲

がり、山寺に足をとどめ名句を残したのが旧暦五月二十七日(新暦七月十三日)になっています。

現在天童は時代の波によって、都市計画が進められ、変貌しつつありますが、昭和四十九年市内の学識経験者等によって奥の細道研究会が結成され、それでは天童のどこを通過して山寺に向ったのかと市内に残っている、石の道標や地蔵尊を手がかりに調査の結果、芭蕉たちは、その後山形の俳人雨声庵山崎・池青・浦夕等多くの俳人達が蕉風を伝承し、句会を催したといわれる、一日町の念佛堂の入口の道から北目道に入り、今は耕地整理でなくなってしまう旧山寺街道を通過して、一面に咲き乱れている紅花を見ながら山寺に行つたと推定しました。研究会その後調査で、芭蕉が山寺に向かう途中詠んだ「行く末は誰かふれん紅の花」と「まゆはきを佛にして紅粉の花」の二句は、当時尾花沢では、紅花が栽培されていたことが、天童で詠まれた可能性が高いと句碑建立のきっかけになりました。

市中央部に位置する舞鶴山山麓にある、江戸時代に建立された三つの句碑に加え、市では芭蕉が詠じた文化遺産を、水・後世に伝えようと、これまで天童市の細道研究会の協力をえて、旧東村山郡役所資料館の南側にある翁塚と、石倉に、三つの句碑を建立し、芭蕉の通った道に道標を建てたり、道標、案内板を設置しました。

いったい芭蕉の魂をみちのくの旅へ駆りたてたのは、何んだらうか、みちのくにはあつたはずなのだと思ひをはせながら、山形の歴史と風土を再認識するために、芭蕉ゆかりの地や句碑をのんびり訪ねてみませんか。

資料提供 天童市企画広報課
問い合わせ 〃 商工観光課
広報部 若月 三郎

十二月五日、枯がらし吹く寒い中、藤島支部婦人部ビニ・バレール同好会が支部協賛により、第一回ビニ・バレール大会を開催しました。支部と青年部婦人部に協力を依頼、賛成を頂きました。午前九時三十分若男女を交え同好会長の武田さんの開会の挨拶に続き組織部長小林さんより励ましの言葉と怪我のないように注意を頂きました。運動不足で硬くなっている筋肉をラジオ体操でほぐし準備運動、その間あちこちであーとかうーとか声が出ると笑い声とあふ、外は北風も冷たく広い体育館も最初は寒々としておりましたが大部温まった様子。だんだん試合が進むにつれて寒さも忘れて童心に返り珍プレー有り好プレー有りました。家の中では出すことも無い大きな声で体育館いっぱい笑った話をしたりぶつかり合ったり爆笑の連続でした。怪我をする人も無く試合も終り本場に楽しい大会と成りました。昼休みも取らず昼食はパンと牛乳で休んでいるうちにすませ午後二時無事試合終了と成りました。後庄司副支部長さんの挨拶と乾杯の音頭で懇談会に入りました。盛沢山のオードブルを開き婦人部の皆さんのそれぞれの自慢の手作りの料理に漬物を回しながら、ビールと水割りで冷えた体を温め試合の話に花を咲かせカラオケも出るし、にぎやかに試合の興奮もまださめないままに別れを惜しみながら、それぞれにみぞれ降る師走の町を家路につきましました。皆さん本当に御協力有難うございました。

斎藤 由子

全国理容環境衛生同業組合連合会推薦
お母さんからの賞賛の声高まる!!
赤ちゃんの筆 胎毛筆

家紋入り胎毛筆絶賛好評中!

1. 胎毛筆・祝筆セット	¥12,000
(理容室価格 ¥9,000)	
2. 胎毛筆・祝筆胎毛紅筆セット	¥15,000
胎毛筆・黒檀軸仕様 (理容室価格 ¥11,000)	
3. 特製胎毛筆・本水牛軸仕様	¥30,000
(理容室価格 ¥22,000)	
4. 特製胎毛筆・本象牙軸仕様	¥40,000
家紋入りの場合 (理容室価格 ¥29,000)	

いずれの型式も店頭価格に10,000円、理容室手数料に3,000円加算されます。

新しく総合カタログが出来ましたので御請求下さい。

胎毛筆の 光文堂

本店 〒729-26 広島県豊田郡川尻町2400
TEL (0823) FAX (0823) 87-3365
関東支部 〒143 東京都品川区南大井6丁目16-12-703
TEL (03) 763-9838 FAX (03) 763-9583

お問い合わせ フリーダイヤル 0120-474120

理容・美容サロン繁栄の
情報発信基地

二チリ・カネボウ山形県総代理店

理容・美容器具・各種化粧品

(株)有海理美容器具店

本社 〒990 山形市六日町1番2号
山形(0236)31-4723(代)
FAX 山形(0236)24-5391

庄内営業所 〒998 酒田市堤町2番1号
酒田(0234)23-7691
FAX 酒田(0234)23-7174